

2016 年度前期 学生授業評価アンケート集計結果に対するコメント

—共通教育研究センター—

共通教育研究センター長 相澤 正彦

全学共通教育科目の前期開講科目のうち、アンケート対象科目は 89 科目であり、このうち 4 科目をのぞく 85 科目についてアンケートが実施されました（実施率 95.5%）。内訳は実施必須科目では 48 科目中、実施された科目は 48 科目すべて（100%）にわたり、任意科目では 41 科目中、実施されたのは 37 科目（90%）でした。協力を頂いた学部生のみなさんは延べ 2, 233 名にのぼりました。この場を借りて御礼申し上げます。またアンケートの実施に対し、貴重な授業時間を割いてご協力頂いた先生方にも深く感謝いたします。

周知のように個別科目の集計結果は Campus Square から自由に閲覧することが可能です。おおいに利用していただきたいと思います。さて、授業の満足度を示す「総合的にこの授業を評価できる」の平均は、5段階評価で 4.48 であり、大学全体 4.39 よりも上回り、4 学部のいずれにも上回っています。あわせ 12 の質問項目の中で 11 項目すべて 4.0 以上の高い評価を得ています。

個別項目と「総合的にこの授業を評価できる」との相関でみると、例年、相関係数がトップの位置にある「この分野の関心と学力が得られた」は 0.81 となり高い数値を示しています。これは前年度後期アンケートと同じ数値で、また 4 学部の数値も超えており、各授業の充実度を示すものと言えます。教員のみなさんの不断のご努力によるものと、重ねて謝意を表する次第です。

さて全学共通教育科目においても、アクティブ・ラーニングの促進を連年、奨励しておりますが、前記した 4.0 に惜しくも届かなかった 1 項目が、「教員は発言・議論等授業参加を積極的に促した」の 3.92 でした。が、前年度後期と比べると 0.28 上回りました。また前年度後期は「授業中意欲的に取り組んだ」が 3.98 であったことに対し、今回は 4.18 となったことは、先生方による学生への意欲の促しが大きかったものと推察されます。これは、学生の「予習または復習をよくした」が、前年度後期 3.09 であったことに対し今年度は 3.18 と上向きになってきていることと同調するもので、まことに喜ばしいことと思われれます。しかしまだまだ学生側の奮起も期待したいところです。

スポーツ・ウェルネス実技科目については、「総合的にこの授業を評価できる」が 4.80 と例年と同数値で極めて高く、「運動量は十分であった」の数値が 4.81、「身体の健康、体力、生活習慣を見直す機会になった」が 4.72 と、これも前年度と同じくいずれも高いことと相まって、学生におけるスポーツ・ウェルネス関係の関心の高まりと教員みなさんの熱意がうかがわれます。

全学共通教育科目は、教養科目、外国語科目、スポーツ・ウェルネス科目、IT 科目、WRD 科目、データサイエンス科目という構成からなり、基本的な学問体系を学べるよう、また今日的な諸問題に取り組むことができる教養や知力、スキルを習得できるよう、多岐にわたる科目が配されています。このアンケートを通じ、今後も質の高い授業を学生のみなさんに提供していこうと考えています。